第7分野	基本的な看護技術（土岐）
解説	患者様に対する、基本的なケア方法について確認し、患者様が安全・安楽に療養に専念できる環境作りを私達が実践する為に、改めて基礎的な看護技術について確認しましょう。看護技術には、コミュニケーションの技術・傷の処置・投薬・点滴・注射・清潔の援助（清拭・足浴・手浴・口腔ケア・洗髪）・体位交換・安楽な姿勢の提供・罨法など様々なものがあるが、全てにおいて基本的な手技・技術・観察ポイントがあり、それらをきちんと把握していないと、適切なケアが提供できない。適切なケアを事故なく提供する為にも、基礎看護技術の確認は重要である。また、自分自身を怪我から守る為にも、ケアのポイント（体位交換時の看護師の姿勢、トランスファー時の看護師の姿勢など）を把握しているか、いないかによって、思わぬ事故を防止でき、自分自身も患者様に対して安全・安楽に看護ケアを提供できる。
例題1	投薬時の確認事項について述べなさい。
回答	①薬包の名前・投薬時間を確認する。　②患者様のお名前をフルネームで応えていただく。　③投薬すべき相手と薬包があっているか確認する。　④十分な水で服用しているかも確認する。　⑤薬は水またはぬるま湯で服用していただく。　⑥必要に応じて服用後口腔内・使用したコップ内も確認する。
例題2	体温測定時の観察・ケアポイントを挙げてください。
回答	①体温が低く表示されるため、腋窩に汗をかいていないか確認する。　②立ち歩いて体温計を紛失しないよう座っていただく。　発熱があり腋窩をクーリングしている時は反対側で測定する。　④異常値は日勤者・リーダーへ申し送る。
例題3	静脈内注射をする際に注意しなければならないことを書きなさい。
回答	①医師の指示内容を確認する。　②確認するのは患者様名、薬剤量、用量、実施時間、薬の副作用、アレルギーの有無など　③薬剤によっては、他の薬剤をませることが出来ないものがあるので十分に注意すｓる。　④薬剤によっては注入速度のしていがあるものもあり、事前に確認することが必要。　⑤通常副作用を起こしたことのない薬でも患者様の状態によっては副作用が強く現れる場合もあるので、薬剤注入時は患者様の状態変化に十分に注意する。　⑥注入中や注射後、患者様が不調を訴えた場合にはすぐに注射を中止し、バイタルサインや一般状態を医師に報告し指示を受ける。　⑦処置を実施した場合には、その旨カルテに記載する。（時間、実施内容、患者様の様子、実施者）
例題4	冷罨法（クーリング）の適応と実施中の観察ポイントについて述べなさい。
回答	冷罨法は、発熱時（悪寒が無い場合に限る）、腫脹の軽減と疼痛緩和の際に実施する。冷罨法には、氷枕等を利用した体外からのクーリングと、水分補給・補液等で実施する体内からのクーリングの2種類の方法がある。氷枕等を利用したクーリングを実施する際は、氷枕の当たっている体の部位状態の観察が重要であり、補液で実施する際は、体内の電解質バランスの変化に注意が必要である。患者様の状態に応じて体内・体外のクーリングを実施するが、2種類のクーリングを組み合わせて実施したほうがよい。ただし、経口からの水分摂取が困難な場合や、急激な体温上昇時は、医師へ状態を報告し、指示を仰ぐことが重要である。
例題5	体位交換時・トランスファー時の注意事項について述べなさい。
回答	いずれも、出来るだけ患者様の体に自分の体を近づけることが重要である。接する面積を大きくすれば、それだけ小さな力で患者様を動かすことが出来る。逆に患者様から自分の体を遠ざけてトランスファーや体位交換を実施すると、より大きな力を必要とするばかりか、自分の腰などに大きな負担をかけてしまい、思わぬ怪我につながる。また、患者様の体を不安定な状態においてしまい、事故につながる危険性が高まる。

例題６	注射による吸収速度を説明しなさい
回答	皮下注射１に対して、筋肉注射２、静脈注射１０といわれている
例題7	ハイムリック法について説明しなさい
回答	心窩部を勢いよく圧迫することにより一過性に胸腔内圧を上昇させ、同時に気道内圧を上昇させることを目的とする。術者は患者の背後に回り、片方の手を握りこぶしにして、それを患者の心窩部にあて、もう一方の手をその上に乗せて、弾みをつけて後方に圧迫する。 内臓を損傷する危険性があるので、実施後にはレントゲン撮影を行い、内蔵損傷がないことを確認する。
例題8	長期臥床によって生じる障害を書きなさい
回答	循環器系：運動能力の低下、運動に対する心拍反応の増加、循環血液量の減少、血圧調整障害（起立性低血圧） 呼吸器系：最大酸素摂取量の減少、肺活量の減少 代　　謝：血清蛋白の減少、骨からのカルシウムの減少 筋　　肉：筋力低下 精神的・社会的：情緒不安定、うつ状態、家庭生活・対人生活の不調、経済的損失、社会復帰の困難
例題９	尿道留置カテーテルの適応を書きなさい
回答	①高度の排尿困難、頻尿、尿失禁　②下部尿路通過障害による腎機能障害の改善　③膀胱・尿道・前立腺などの手術後　④前立腺手術後の牽引・圧迫止血　⑤排尿管理（意識混濁時、ショック、手術中、手術後）　⑥時間ごとの尿量測定を行い厳密な水分出納管理が必要なとき　⑦尿失禁が続き皮膚への悪影響が強いとき だが、①⑦の場合はケアの工夫で留置しなくてもすむと考えられる。
例題１０	薬物依存への懸念から鎮痛剤などの使用を躊躇する場合がありますが、「耐性」「身体的依存」「心理的依存」の違いを書きなさい。
回答	耐　　　　性：同じ効果の維持に薬の増量が必要となった状態 身体的依存：アヘン系麻薬の投与が突然中断されたとき、または、アヘン系麻薬の拮抗薬が投与されたとき、急性禁断症状が出現することを特徴とする状態 心理的依存：身体的依存や耐性とは区別すべきもので、薬の乱用という行動様式であり、薬の欲求と、薬を獲得して使用することへの異常な執念とによって特徴づけられる状態
例題１１	摘便の手順とポイントを書きなさい

回答	①患者の準備（左側臥位・ビニール袋）　②看護師の準備（ゴム手袋・キシロカインゼリー・ガーゼ）　③肛門の輪状マッサージ　④挿入　⑤便の摘出　⑥終了このとき①患者様の恥ずかしさと緊張が少なくなること、②患者様の安楽さ、③看護師の手技の簡便さ、④余分に汚さないこと、がポイントとなる。
例題１２	抑制がもたらす弊害を書きなさい
回答	①抑制に抵抗しようとして逆に転落・負傷などの事故が増える　②抑制帯による窒息死の危険性　③強制体位・体動制限による慢性的便秘　④失禁　⑤筋力の低下　⑥関節拘縮　⑦循環機能低下　⑧褥瘡　⑨怒り・恐怖・強迫感の誘発　⑩情緒不安定　⑪人権侵害　⑫人間の生命の質の低下　⑬看護師のチャレンジ精神を失わせ、個性的・創造的ケアを否定的にさせる
例題１３	気管内吸引の手順を書きなさい
回答	①患者様に吸引することを告げ協力を得る　②吸引圧を上げ、滅菌水を通し、吸引可能である事を確認する　③吸引圧は－200mmHg以内　④咳をしたら吸引圧を開放し、カテーテルを回旋しながら引き抜く　⑤1回の吸引時間は10～15秒以内　⑥患者の呼吸状態を観察しながら間隔をおいて行う　⑦吸引後は滅菌水を吸いチューブ内を洗浄する　⑧カテーテルに付着した分泌物はアルコール綿で除去する
例題	酸素飽和濃度とは何を表していますか？
回答	総ヘモグロビンのうち酸素と結合したヘモグロビンの割合を表している。チアノーゼが観察されるのは、毛細管中の還元ヘモグロビンが５ｇ／dlを超えた時である。酸素飽和濃度が７０％以下にならないとチアノーゼは確実に観察する事は出来ない。正常人の平均値は約97%である。